NAG RACING SERVICE

内圧コントロールバルブ
SUZUKI ラパン (HE21S ターボ仕様)/アルトワークス (HA21S/HB21S) 用 取扱説明書

取付作業前にこの説明書をよくお読みください

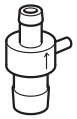
この度はNAG SED 内圧コントロールバルブをお買い求め頂き誠にありがとうございます。
この説明書は内圧コントロールバルブの標準的な取付方法をご案内するものです。取り付けをおこなう車体の個体差により取り付け方法が異なる場合があります。
また、製品の仕様（グレード）によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなってください。

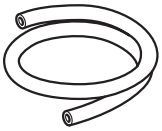
1 セット内容

最初にご確認ください。

内圧コントロールバルブ
本体

（エマルション対策仕様のみ付属）


セパレータ


付属チューブ

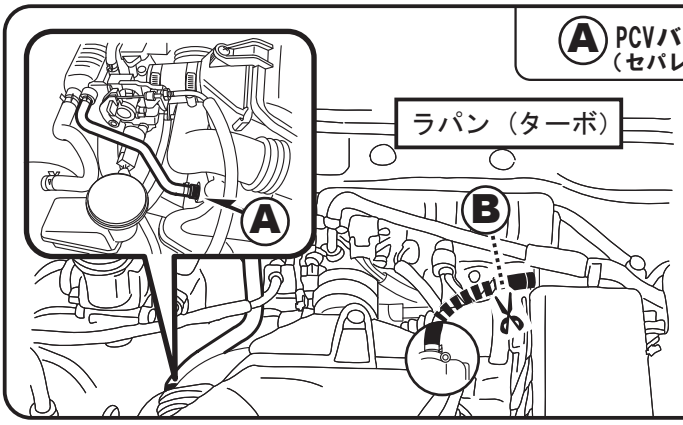
2 お客様でご準備いただくもの

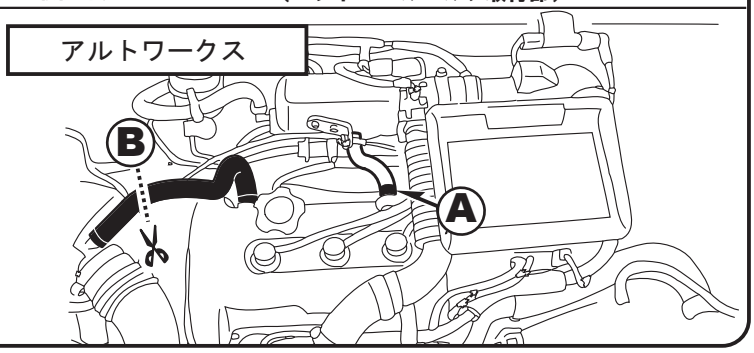
ナイロンストラップ　2本
（コントロールバルブを固定するのに使用します。）

3 取り付け作業

ボンネットを開けて作業をおこないます。

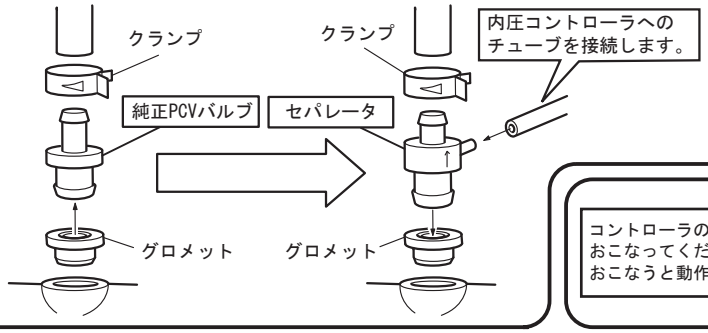
Ⓐ PCVバルブの位置（セパレーター取付部）　Ⓑ ブリーザーホースのカット位置（コントロールバルブ取付部）





Ⓐ PCVバルブをセパレータに交換し，付属チューブを接続します。

矢印の刻印がインテークマニホールド側を向くように装着します。
（クランプ/グロメットは再使用します）

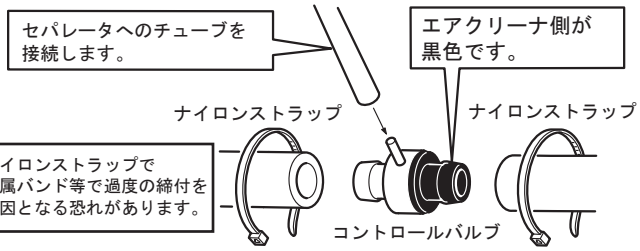


Ⓑ ① ブリーザーホースを切断します。

安全に十分配慮をしてホースをカットしてください。

② コントロールバルブを接続します。

カットしたブリーザーホースの間に，コントロールバルブの黒色部分をエアクリーナ側にして装着します。

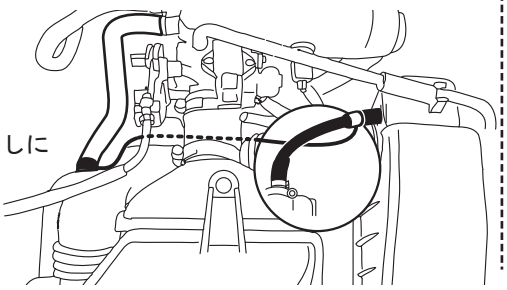


付属チューブの接続 （エマルション対策仕様のみ）

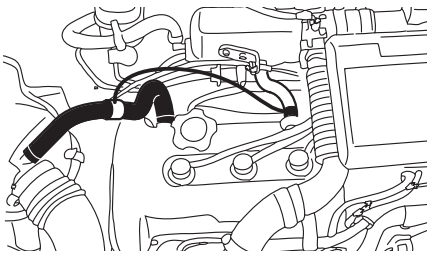
コントロールバルブとセパレータ間を付属チューブで接続します。

セパレーターとコントロールバルブ間を結ぶ付属チューブが余裕を持った取り回しになるように接続してください。

ラパン



アルトワークス



以上で取り付けは終了です。再度取付方向、部品の固定を確認してご使用ください。ご不明の点はお問合せください。

定期清掃について

本品はエマルションの処理は出来ますが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。
スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。
長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年１～２度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお願いします。

清掃方法　軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いして清掃してください。
汚れがひどく上記の方法で除去出来ないときには、キャブクリーナーを使用してください。また清掃にはブラシなどは使用しないでください。

株式会社 ナグ・エスイーディ

http://nag-sed.com/

504-0934 岐阜県各務原市大野町 3-241　TEL:058-383-7998 FAX:058-383-7977

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。